		Т		シフ	/ \				
科目名		プログラミング1		担	担当者名		石原 明人、池田 真太郎		
学 科		情報システム科ITエンジニア コース		į	授業方法		演習		
認定単位開講学年		6単位 開講期 1学年 必・選				授業時間数	216時間		
授業目的						た際に求められる最低限必要なプログラミングスキルを			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身付ける。							
授業概要		統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることを重視して、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技術までを学習する。							
		授業内容				授業内容			
	1	オリエンテーション			19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)			
	2	オリエンテーション			20	クラスの概念(クラスについて理解をする)			
	3	オリエンテーション			21	クラスの概念(クラスについて理解をする)			
	4	開光環境 ヒツノオンケ (ヘトレーン、ecnpse、WindowBuilder) とフレームプログラムの作成			22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)			
	5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェッ クボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)			23	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成			
	6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェッ クボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)			24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成			
	7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)			25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成			
授	8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)			26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)			
業計	9	データ型/演算/例外処理(データ型や演算処理、 データ型の変換方法、例外処理について学習)			27	基礎ゼミ連携	礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題なったシステムを作成する)		
画表	10	データ型/演算/例外処理(データ型や演算処理、 データ型の変換方法、例外処理について学習)			28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)			
	11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)			
	12	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			30		⊭級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題と よったシステムを作成する)		
	13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)			
	14	データベース接続および検索プログラムの作成			32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)			
	15	データベース接続および検索プログラムの作成			33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)			
	16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			34	まとめ			
	17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			35	まとめ			
	18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			36	まとめ			
		テスト 50%			· 学習FB方法		定期的に実施する確認試験にて理解度の 確認を行い、理解度が低い学生には別途		
成績割合		学習態度・出席率 20%				補習を行う			
		レポート 30% ヘ計 100%		成績評価		成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定。作成した課題も成績に加			
P/R/A/C割合		合計 100% P《無關解沖刑学習》40% P《宝确宝赊刑学習》				Δ // → l+ hh ±	味する hn刑学習》40% C《ご	<b>塩外休蔵刑学邓№10</b> ₩	
P/R/A/G割合 講師プロ フィール		P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》10% A《主体的参加型学習》40% G《海外体感型学習》10% 情報システム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、学習する意識や心構えも指導している。							

				シラ	バ	ス				
科目名		プログラミング1		担当者名		者名	石原 明人、池田 真太郎			
学 科		情報システム科AIシステムコース		授業方法		演習				
認定単位		6単位 開講期				授業時間数	216時間			
開講学年		1学年	必・選		必追	崔	12 X 11 11 30	210.414		
授業目的		プログラマ・システムエンジニアとして就職U 身に付けるための授業								
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身に付ける。								
授業概要		統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることを重視して、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技術までを学習する。								
		授業内容				授業内容				
	1	オリエンテーション			19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	2	オリエンテーション			20	クラスの概念(クラスについて理解をする)				
	3	オリエンテーション			21	クラスの概念(クラスについて理解をする)				
	4	研究現現でファインク (ヘトレーン、eciipse、WindowBuilder)とフレームプログラムの作成			22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)				
	5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)			23	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
	6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)			24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
	7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)			25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
授	8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)			26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
業計	9	データ型/演算/例外処理(データ型や演算処理、 データ型の変換方法、例外処理について学習)			27	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
画表	10	データ型/演算/例外処理(データ型や演算処理、 データ型の変換方法、例外処理について学習)			28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)				
	12	PDLで保険となったシヘノムを下放する)			30	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	14	データベース接続および検索プログラムの作 成			32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	15	データベース接続および検索プログラムの作 成			33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			34	まとめ				
	17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			35	まとめ				
	18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			36	まとめ				
		テスト 50%			学習FB方法		定期的に実施する確認試験にて理解度の 確認を行い、理解度が低い学生には別途			
成績割合		学習態度・出席率 20%			子首FD万伝		補習を行う			
		レポート 30%			成績評価		成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定。作成した課題も成績に加味する			
		合計 100%								
P/R/A/G割合		P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》10% A《主体的参加型学習》40% G《海外体感型学習》10%								
講師プロ フィール		情報システム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、学習する意識や心構えも指導している。								

				ンフ	/ \	^				
科目名		プログラミング1 担		1 当 者 名		石原 明人、池田 真太郎				
学 科		情報システム科ICTクリエーター コース			受業方法		演習			
認定単位開講学年		6単位 開 講 期 1学年 必・選		必追	<b>E</b>	授業時間数	216時間			
授業目的		プログラマ・シス 身に付けるため		L して就職し	た際	ミに求められ	る最低限必要なプロ	コグラミングスキルを		
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身に付ける。								
授業概要		統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることを重視して、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技術までを学習する。								
		授業内容				授業内容				
	1	オリエンテーション			19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	2	オリエンテーション			20	クラスの概念(クラスについて理解をする)				
	3	オリエンテーション			21	クラスの概念(クラスについて理解をする)				
	4	研究環境 ヒツティンク (ヘトレーン、eciipse、   WindowBuilder) とフレームプログラムの作成   毛順			22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)				
	5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェッ クボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)			23	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
	6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェックボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)			24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
	7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)			25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
授	8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により発生するイベント処理の作成方法)			26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
業計	9	アータ型/ 演昇/ 例外処理(アータ型や演昇処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)			27	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
画表	10	データ型/演算/例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)			28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)				
	12	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			30	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	14	データベース接続および検索プログラムの作 成			32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	15	データベース接続および検索プログラムの作成			33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
	16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			34	まとめ				
	17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			35	まとめ				
	18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。		36	まとめ					
成績割合		テスト 50%			学習FB方法 成績評価		定期的に実施する確認試験にて理解度の確認を行い、理解度が低い学生には別途補習を行う 成績は、授業参加、出席、定期試験から総合成績を決定。作成した課題も成績に加			
		学習態度・出席率 20%								
		レポート 30%								
				100%			味する			
P/R/A/G割合		P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》10% A《主体的参加型学習》40% G《海外体感型学習》10%								
講師プロ フィール		情報システム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、 学習する意識や心構えも指導している。								

7									
	プログラミング1 担		1 当 者 名		石原 明人、池田 真太郎				
	情報システム科ITスペシャリスト・ 大学コース		受業プ	方法	演習				
位年	6単位 開 講 期 1学年 必・選		必道	選	授業時間数	216時間			
的	プログラマ・システムエンジニアとして就職した際に求められる最低限必要なプログラミングスキル・ 身に付けるための授業								
標  グ  ズ)	プログラム作成を通して、想像力、論理的思考、問題解決力を身に付ける。さらに、基礎ゼミと授業連携してPBLを経験し、主体的学習の意識やソーシャルスキルのトレーニング、そして協働力を身に付ける。								
·王要	統合開発環境であるeclipseを使ってJavaプログラムを作成する。モノづくりの楽しさを知ることをして、Swingを使ったフレーム(ウィンドウ)プログラムの作成し、データベース操作のプログラム技行でを学習する。								
	授業内容				授業内容				
1	オリエンテーション	/		19	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
2	オリエンテーション			20	クラスの概念(クラスについて理解をする)				
3	オリエンテーション			21	クラスの概念(クラスについて理解をする)				
4	開発環境でツティンク (Aトレーン、eclipse、WindowBuilder) とフレームプログラムの作成 手順			22	確認試験3(ここまでの学習内容の理解度チェック)				
5	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェック ボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)				データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
6	コンポーネントの作成(ラベル・ボタン・チェック ボックス・ラジオボタン・テキストフィールド)			24	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
7	イベント処理の作成(コンポーネント操作により 発生するイベント処理の作成方法)			25	データベースの追加・更新・削除プログラムの作成				
8	イベント処理の作成(コンポーネント操作により 発生するイベント処理の作成方法)			26	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
9	データ型/演算/例外処理(データ型や演算処理、 データ型の変換方法、例外処理について学習)			27	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
10	データ型/演算/例外処理(データ型や演算処理、データ型の変換方法、例外処理について学習)			28	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
11	確認試験1(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			29	確認試験4(ここまでの学習内容の理解度チェック)				
12	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			30	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
13	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			31	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
14	成			32	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
15	データベース接続および検索プログラムの作 成			33	進級作品制作(基礎ゼミとの連携授業。PBLで課題となったシステムを作成する)				
16	確認試験2(ここまでの学習内容の理解度 チェック)			34	まとめ				
17	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			35	まとめ				
18	基礎ゼミ連携課題(基礎ゼミとの連携授業。 PBLで課題となったシステムを作成する)			36	; まとめ				
	テスト 50%			学習FB方法		定期的に実施する確認試験にて理解度の確認を行い、理解度が低い学生には別途補習を行う			
合	学習態度・出席率 20%								
	レポート 30%			F.	成績は、授業参加、出席、定期記 成績評価 合成績を決定。作成した課題も				
	合計 100%			味する					
割合 プロ ル	P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》10% A《主体的参加型学習》40% G《海外体感型学習》10% 情報ンステム科を卒業後、社会人としてシステム開発を経験。プログラム作成技術だけでなく、専門学校生の目線で、学習する意識や心構えも指導している。								
	位年 的 標/バ 要	大学 位 6単位 1学年 的 7年 1 1 2 7 1 1 2 1 2 1 3 7 1 2 1 3 7 1 3 1 3 1 4 1 3 1 3 1 4 1 3 1 3 1 4 1 3 1 3	大学コース	大学コース 位 6単位	大学コース 位 6単位 開講期 2 2・選 の 7 ログラマ・システムエンジニアとして就職した 別に付けるための授業	大学コース   大学コース   大学コース   大学コース   大学コース   で	(位 年 1 年		